

#### IV. 大学が使命・目的に基づいて独自に設定した基準による自己評価

##### 基準 A. 社会連携

##### A-1 大学が持っている物的・人的資源の社会への提供

###### 〈A-1 の視点〉

##### A-1-① 大学施設の開放、公開講座、リフレッシュ教育など、大学が持っている物的・人的資源の社会への提供

###### (1) A-1 の自己判定

基準項目 A-1 を満たしている。

###### (2) A-1 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）

##### A-1-① 大学施設の開放、公開講座、リフレッシュ教育など、大学が持っている物的・人的資源の社会への提供

###### 1. 禅とこころ

CDC と呼ぶ本学独自の学部・学科共通の科目群のカリキュラム構成の、基礎教育部分と、9つの副専攻(ブロックと呼称)の中の間人文化ブロックに属する。

建学の精神である「禅仏教による人格の陶冶」をテーマに、「仏教講座」を仏教学科教員によって開設するとともに、禅の世界をあらゆる角度から捉え、感得するために「禅語に学ぶ」「禅の世界」「Zen カルチャー」の4本の柱立てを通じて多方面に展開している。この講座は、平成23(2011)年から、学長が講義担当及びコーディネーターとなり、一般聴講が可能な講座として定着し展開している。通年の講義で、毎週月曜日の第2講時(10:40-12:10)、年間30回[資料](A-1-1)を開講。一般聴講生は、約30名。講義の形態は、いす坐禅+読経+法話・講義(一部「Zen カルチャー」では実演ライブ)が行われる。

###### 2. 花園大学歴史博物館

花園大学歴史博物館は、平成12(2000)年3月に設置し、同年京都府から博物館相当施設の指定を受けている。本学文学部文化遺産学科が中心となって、調査・研究活動によって蓄積された考古学、民俗学、歴史学、美術・禅文化に関する資料を広く公開し、大学教育にとどまらず、広く市民の生涯学習に役立つことを目的にしている。収蔵品の概要は、以下の通りである。

###### ア. 考古学部門

考古学部門は、本学考古学研究室が実施してきた発掘調査の32資料を収蔵している。圧巻は、京都市内最大の前方後円墳である伏見区桃山町黄金塚二号墳(4世紀末)から出土した埴輪群である。このうち1本の盾形埴輪には、耳飾りをしたシャーマンらしき人物の線刻画が描かれている。弥生・古墳時代の資料としては、他に滋賀県野洲町下々塚遺跡、同町富波遺跡、鳥取県三朝町丸山遺跡などの出土品がある。また、本学のキャンパスは、平安京右京二条三坊九・十・十五・十六町跡にあたっており、キャンパス内の発掘調査によって平安京関係の遺物が多量に出土している。

## イ. 民俗学部門

民俗学部門は、奈良県大宇陀町の農村集落から収集した、民俗資料を中心に収蔵している。その内容は、服飾・食事・農耕・山樵・手工・染織・諸職・狩猟・漁労・交通運搬・交易・社会生活・年中行事・信仰といった多分野にわたり、生活文化の諸相をほぼ網羅している。これらの資料をもとに、日常的で類型的、伝統的な生活文化の様子を展示している。

## ウ. 美術・禅文化部門

日本の禅林文化は、宗教のみならず広く文学・芸能・美術などの文化史全般に大きな影響を与えつつ展開してきた。なかでも近世以降の宗教美術で最も注目されるジャンルとして、禅林の絵画や墨蹟がある。これらは、そのユニークな造形とそこに秘められた精神性によって、国際的にも注目を集めてきた。近世を通じて禅林美術全体に強い影響力を持ちつづけた妙心寺派の傑僧白隠慧鶴の作品に始まり、現代まで連なる禅画や墨蹟の作品群を展示し、豊かな禅文化の一端を紹介している。

## エ. 歴史学・典籍部門

この部門では、文学部日本史学科が中心となって収集してきた多数の文献資料（古文書など）を収蔵している。中でも重要なのは、石見国（島根県）の御家人であった俣賀家に伝来した「俣賀家文書」である。これは、嘉禎2（1236）年から応仁2（1468）年にいたる22点の文書からなり、地方武士の動向を知ることのできる中世文書として、極めて貴重な資料といえる。他には、近世から近代初頭に至る地方文書である「和泉国泉郡国分村文書」、近世の京都市中における行政文書である「京都町触」、近世の宮大工の一括史料として重要な「大工関係文書」がある。これらの各部門の収蔵品は、常設展示室で展示している。

一方、常設展示以外に、収蔵品の概要は、以下の通りである。

独白の企画により特別展を実施している。特別展のうち、『観る読む悟る 白隠一傑僧とその一門―』『森寛斎と森派の絵画―寛斎・祖仙・周峯・徹山・一鳳―』については、同名の展示図録を発行し、両冊を合本してそこに〔新収 十六羅漢図〕を加えた『花園大学歴史博物館図録』も刊行済みである。また、『白隠 禅画と墨蹟―新出：龍雲寺コレクション―』平成16（2004）年、『宇治人形―知られざる茶の木人形の世界―』平成19（2007）年、『京（みやこ）を掘る―今解き明かす平安貴族のくらし―』平成20（2008）年、『春日局ゆかりの寺 麟祥院展』平成21（2009）年、『大法院展 真田家と佐久間象山ゆかりの文化財』平成22（2010）年、『遂翁元盧―禅画と墨蹟 丈山文庫・永明寺所蔵作品―』平成23（2011）年、『東嶺圓慈―禅画と墨蹟 龍澤寺・齡仙寺と近江の禅寺所蔵作品―』平成24（2012）年、各特別展図録の他に花園大学歴史博物館資料叢書 第1輯『妙心寺麟祥院所蔵絵画資料目録』平成23（2011）年、第2輯『梅忠町家屋敷絵図目録』平成23（2011）年、第3輯『江馬務「卅三年度江馬年中日記」「文科大学史学科三年史論」』を刊行した。

【表 A-1-1 特別展の概要】

(単位：名)

| 展示期間                        | テーマ   | 入館者数  |
|-----------------------------|---|-------|
| 2000年11月14日～<br>2000年12月9日  | 特別展『観る読む悟る白隠－傑僧とその一門』                         | 1,656 |
| 2001年4月4日～<br>2001年6月30日    | 特別展『青春の日本映画－ポスターセレクション』                       | 1,622 |
| 2001年10月9日～<br>2001年12月1日   | 特別展『平安京再現－梶川敏夫氏『森寛齋と森派の<br>絵画』                | 1,080 |
| 2002年4月3日～<br>2002年7月6日     | 特別展『平安京再現－梶川敏夫氏原画による遺跡復<br>元画展』               | 1,941 |
| 2002年10月28日～<br>2002年12月21日 | 特別展『東海の名刹清見寺－朝鮮通信使と禅林美<br>術』                  | 1,510 |
| 2003年4月3日～<br>2003年6月7日     | 特別展『今昔みやこ案内～都名所図会・平安通志・<br>パノラマ地図の世界～』        | 2,456 |
| 2003年10月20日～<br>2003年12月17日 | 特別展『新収 十六羅漢図』                                 | 1,744 |
| 2004年4月3日～<br>2004年6月12日    | 特別展『洛中大火夢物語～風雲の幕末京都～』                         | 2,488 |
| 2004年10月25日～<br>2004年11月27日 | 特別展『白隠 挿画と墨蹟～新出・龍雲寺コレクシ<br>ョン～』               | 1,479 |
| 2005年4月2日～<br>2005年11月27日   | 特別展『羽織裏の粋（おしやれ）－山名邦和コレク<br>ションー』              | 2,167 |
| 2005年11月7日～<br>2005年12月17日  | 特別展『杏子庵（しょうしあん）の眼－日本画小品<br>展－』                | 1,191 |
| 2006年4月3日～<br>2006年6月24日    | 特別展『箔の美 野口康作品展－画材としての箔<br>光琳筆紅白梅図金箔・金泥問題に迫る－』 | 1,570 |
| 2007年4月11日～<br>2007年6月29日   | 特別展『挿絵の世界－近世の出版文化－』                           | 1,355 |
| 2007年10月22日～<br>2007年12月15日 | 特別展『宇治人形－知られざる茶の木人形の世界<br>－』                  | 798   |
| 2008年4月2日～<br>2008年6月28日    | 特別展『春日局ゆかりの寺 麟祥院展』                            | 1,371 |
| 2008年10月6日～<br>2008年11月15日  | 特別展『京を掘る－今解き明かす平安貴族のくら<br>しー』                 | 1,426 |
| 2008年11月20日～<br>2008年12月24日 | 特別展『良寛と文人・個人展－良寛上人から世界<br>平和へー』               | 1,426 |
| 2009年4月2日～<br>2009年6月27日    | 特別展『みちのくの禅－松島瑞巖寺の寺宝－』                         | 1,201 |
| 2009年11月2日～<br>2009年12月26日  | 特別展『上方ゆかりの絵師たち』<br>併催 幻の漫画雑誌『大阪パック』           | 840   |
| 2010年4月2日～<br>2010年6月30日    | 特別展『大法院展 真田家と佐久間象山ゆかりの文<br>化財－』               | 1,186 |
| 2010年9月21日～<br>2010年10月30日  | 特別展『愚堂東寔遺墨展』                                  | 877   |
| 2011年3月3日～<br>2011年6月4日     | 特別展『狩野派の絵画－枳米菴コレクション 京狩<br>野作品を中心に－』          | 982   |

|                            |  |       |
|----------------------------|--|-------|
| 2011年10月3日～<br>2011年12月20日 | 特別展『遂翁元虚—禅画と墨蹟 丈山文庫・永明寺<br>所蔵作品—』      | 891   |
| 2012年4月3日～<br>2012年6月16日   | 特別展『風俗史家 江馬 務の見た明治・大正・昭和』              | 764   |
| 2012年10月1日～<br>2012年12月15日 | 特別展『東嶺圓慈—禅画と墨蹟 龍澤寺・齡仙寺と<br>近江の禅寺所蔵作品—』 | 1,046 |
| 2013年4月2日～<br>2013年6月8日    | 特別展『大圓寶鑑國師 350年遠諱記念 大仙寺展』              | 会期中   |

歴史博物館は、春期と秋期に常設展と特別展を同時に実施し、展示期間中の開館時間は、午前10時から午後4時までとしている（土曜日は午後2時まで。日曜・祝日は休館。）入館料は無料である。入館者は、学内の学生もさることながら、展示内容によっては、マスコミで取り上げられることも少なくなく、そうした場合には一般の入館者も増加する。また、京都を訪れる修学旅行生や生涯学習のグループなども定期的によく利用している。

### 3. 禅仏教教育センター

本学には、「禅的仏教精神による人格の陶冶」という建学の精神があり、この具現化のために、禅仏教教育センターを設置している。禅仏教教育センターの活動は、本学学生を対象とするばかりでなく、一般市民にも開放している。

具体的な活動は、早朝坐禅会がある。早朝坐禅会は、大学開講期間中の毎朝7時55分から8時45分の間、大学の坐禅堂で開催。開催日数は、年間約120日程度。参加者は、年間の延べ人数で約800名程度である。この他に「禅、現代に生きる」「禅とこころ」と題する臨済宗各派本山の管長や僧堂の師家による提唱と対話を教堂ホールで実施している。また、仏教シンポジウムの開催や右京区京北町教育委員会生涯学習課の協力を得て、学長による十牛図の講義と坐禅を内容とする「学長特別講義」を実施した。

### 4. 心理カウンセリングセンター

本学の心理カウンセリングセンター（以下センターという）とは、平成18（2006）年2月に開設した。本センターは大学附属の相談機関であるため、対外的な心理相談業務と併せて、大学院に臨床心理士の養成課程を設置している関係から、大学院生の教育訓練及び研究機関を兼ねている。待合室2室、面接室とプレイルームを併せて6室の他、和室と大学院生のケースカンファレンスなども行なうミーティングルームを備えている。

センター内での心理相談の対象は、具体的に例示すると以下のとおりである。

- ・子どもに関する相談：すぐにキレル/暴力を振るう/落ち着きがない/学校に行けない
- ・家族に関する相談：家庭環境がうまく作れない/子どもとうまく接することができない
- ・対人関係について：すぐにけんかをしてしまう/友人が作れない
- ・人生・生き方に関する相談：生きている意味がわからない/生きがいがない
- ・職場に関する相談：仕事が続かない/会社に行きたくない

なお、センターの開室時間は月曜日から土曜日の9：30から17：00である。

センターの地域における活動として、開設時から年に2回以上公開講演会を開催してい

る。なかでも「発達障害セミナー」は平成 20（2008）年から毎年開催し講演録を出版している。平成 23（2011）年度からは併せて「高齢者メンタルケア」を開催している。いずれのセミナーも平成 23（2011）年度から（財）日本臨床心理士資格認定協会より臨床心理士資格継続ポイントの短期型研修会として承認を受けている。また平成 24（2012）年度からセンターと関西盲導犬協会の提携により盲導犬育成施設で盲導犬候補犬として専門的に訓練された経歴をもつ犬（フレンドドッグ）を用い、アニマル・アシステッド・セラピーとしての臨床実践を始めた。

### 5. 教員免許状更新講習

平成 19（2007）年 6 月の教育職員免許法の改正により、平成 21（2009）年 4 月から教員免許更新制が導入された。花園大学も平成 21（2009）年度から毎年 12 月頃に教員免許状更新講習を開催している（資料 A-1-2）。講習は花園大学の専門領域である、仏教・禅領域、日本史領域、博物館領域、文化遺産領域、社会福祉領域、臨床心理領域、児童福祉領域など、本学の専任教員を中心として講師を務めている。

【表 A-1-2 教員免許状更新講習】

（単位：名）

| 年度   | 開講した講習（必修及び選択講習） | のべ受講者 |
|------|------------------|-------|
| 2009 | 9 講習             | 88    |
| 2010 | 13 講習            | 1,089 |
| 2011 | 14 講習            | 1,257 |
| 2012 | 13 講習            | 956   |

開設初年度は制度の継続性が不透明であり、全国的にも敬遠した先生が多かったが、次年度以降から制度自体が継続される見通しとなったため、多くの先生方が受講し、大学の物的・人的資源の提供という点において社会的使命を果たしている。また、講習後には、アンケートを聴取しており、文部科学省に提出している評価表も含め、受講してよい研修になったと、おおむね好評を得ている（資料 A-1-3）。

### （3）A-1 の改善・向上方策（将来計画）

公開講座受講生の大学企画のイベントなどへの有機的なアプローチと、地域協力関係の構築を、今後更に発展させる。

歴史博物館の活動が充実していくためには、施設の整備とスタッフの充実が欠かせない。平成 20（2008）年に文学部史学科を学科改組し、日本史学科・文化遺産学科を誕生させた。これにより、より細かい専門教員の充実を図ることができ、翌年、平成 21（2009）年には、文化遺産学科の学術研究室を新設「拈花館」に設けた。民俗学・博物館・美術史の各実習室、情報処理室、マルチメディア研究室などを活用し、今後の歴史博物館の活動の充実を側面から支えていく。

早朝坐禅の参加者は、1 回あたりの人数としては平均 5～6 名であり、決して多いとは言えない。今後、地域の商店街などに積極的に働きかけ、少しでも多くの参加が得られる様

に工夫したい。既に取り組んでいる例として、地藏盆等の行事を開催し、大学周辺の方々に好評を得ており、少しずつ浸透してきている。

心理カウンセリングセンターの来談経緯は、京都市内の医療機関や、従業員のメンタルヘル스에積極的な企業などとの連携により、「医療機関からの紹介」「職場からの紹介」「学校からの紹介」など外部機関からの紹介が多い。今後も、地域社会との協力関係の構築という意味からも、心理カウンセリングセンター委員会などで地域社会の各機関などとの連携・提携を積極的に進めて行く。同時に、インターネットを利用した広報を積極的に実施して相談者の増加に努めていく。

教員免許状更新講習については、講習の更なる充実に向け検討していく。

## A-2 教育研究上において、企業や他大学との適切な関係が構築されていること

### 《A-2の視点》

#### A-2-① 教育研究上において、企業や他大学との適切な関係が構築されているか

##### (1) A-2の自己判定

基準項目 A-2 を満たしている。

##### (2) A-2の自己判定の理由(事実の説明及び自己評価)

#### A-2-① 教育研究上において、企業や他大学との適切な関係が構築されているか

##### 1. 京都市と右京区に所在する7大学・短期大学連携

京都市右京区に所在する7大学・短期大学は、地域の発展・充実を目的として、京都市と協定し、下記の事業を展開した。提携大学は、花園大学、京都外国語大学・同短期大学、京都光華女子大学・同短期大学、京都嵯峨美術大学・同短期大学である。

ア. 平成23(2011)年に京都市右京区に編入された旧京都府京北町の活性化のため、京都市及び地域の各種団体と、サイクリングイベントと関連事業を実施。実施概要は以下の通り。

- 平成23(2011)年11月12日 ぐるりんこ京北2011(準備体操と坐禅体験を担当)
- 平成24(2012)年10月14日 ぐるりんこ京北2012「京北koikoiサイクル」(準備体操と坐禅体験を担当)

イ. 上述7大学・短期大学と京都市右京区が、市民とりわけ右京区民の生涯学習に寄与するため、各大学が「右京まちづくり大学リレー講座」と銘打って、下記の各種講座を開設。

(ア) 平成24(2012)年7月16日 禅とこころ

東日本大震災被災地の気仙沼寺院住職他による、太鼓・三線などを使ったジャズ法話

(イ) 平成24(2012)8月1日～3日 京都学講座

歴史・文学・思想・文化などの様々な角度から「京都」を総合的に学ぶ講座で様々な分野の講演や芸能などの実演など実施 内容は、「こころを伝える ほとけの

形・音・行」

・8月1日(水)・富田陸海(富田工藝三代目 京仏師・京位牌師)

「想いを形に・・・伝え方・伝わり方」

・曾根将郎(曾根造園)庭師

「庭のこころ ー日本文化の継承ー」

コーディネーター：佐々木日嘉里(花園大学講師)

・8月2日(木)・荒木将旭(黄檗宗教学部長) 「なるようになる」

・黄檗宗僧侶10名 「黄檗宗の梵唄の実演」

・8月3日(金)・安永祖堂(花園大学教授)

「真実のために嘘をつけ！ ー花を拵じて衆に示すー」

・上原行照(北嶺大行満大阿闍梨)

「行 ー 千日回峰行についてー」

(ウ) 同年10月11日 京を極める「坐禅体験」(財)大学コンソーシアム京都の関連行事のうち、京カレッジ事業で実施。(本学大坐禅堂にて、坐禅体験)

ウ. 上述連携の協定会議における、各種政策への助言。。

なお、会議成果の一として、大学及び大学生の積極・具体活動を促進するため、右京区予算の新制度補助金「右京区まちづくり支援制度(大学・学生枠)」がつくられ、本学は、以下の事業を展開した。

(ア) 学生枠・地域ボランティア支援制度活用事業

ペットボトルのキャップ回収をおこない、福祉に寄与する。

※ 世界の子どもたちにワクチンを届ける活動と、そのことにより社会環境に少しでも貢献し、環境美化活動する。

(イ) 大学枠・活動支援活用事業

スマートフォンアプリの開発

※ 右京区嵐山への観光客の途中下車を促進するための観光アプリの開発

## 2. 大学コンソーシアム京都

本学は、公益財団法人「大学コンソーシアム京都」に参加し、単位互換制度、インターンシップ、高大連携事業、FD・SD 事業、都市政策事業、学生交流事業、国際連携事業などを通じて、企業や他大学との適切な関係を構築している。

単位互換制度は、加盟大学・短期大学の学生が、他大学が提供する正規科目を履修した場合、その単位が自大学の単位として認定される制度である。例年各大学の提供科目中、本学が提供する「坐禅入門Ⅰ・坐禅入門Ⅱ・人と文化ー禅ー」に人気が集中し、特に「人と文化ー禅ー」は、最も希望者が多く、履修するのが難しい科目として知られている。毎年100名を超える他大学の学生が、抽選により受講している。

教育研究上の企業や他大学との関係は、「大学コンソーシアム京都」が組織されていることにより、良好である。

**(3) A-2 の改善・向上方策（将来計画）**

教育研究上において、企業との関係は、本学の学部学科構成では、難しい所もあるが、起業研究・インターンシップなどの機会を通じ、法人母体である大本山妙心寺の売店でオリジナル商品を販売し、京都の老舗である数珠屋とコラボレーションするなど独自の動きを活発化させている。

また、心理カウンセリングセンターや国際禅学研究所の諸活動を通じて、その可能性を探っていく。

**A-3 大学と地域社会との協力関係が構築されていること**

**《A-3 の視点》**

**A-3-① 大学と地域社会との協力関係が構築されているか**

**(1) A-3 の自己判定**

基準項目 A-3 を満たしている。

**(2) A-3 の自己判定の理由（事実の説明及び自己評価）**

**A-3-① 大学と地域社会との協力関係が構築されているか**

本学は、京都市教育委員会との間で、学生ボランティア（教育活動と災害支援）の派遣協定を締結してを実施している。これは、京都市立小学校・幼稚園などにおいて本学の学生が教育活動の支援を行うもので、教育活動の活性化と学生自身の資質向上を目的として実施しているものである。

例年、10名の学生が、京都市内の小学校で学習補助のボランティア活動に従事している。また、災害支援ボランティアは、つぎの支援を実施した。

【表 A-3-1 災害支援ボランティア活動について】

(単位：名)

| 実施年月     | 支援内容        | 派遣地域       | 参加学生数 |
|----------|-------------|------------|-------|
| 2004年12月 | 新潟県中越地震災害支援 | 新潟県魚沼郡塩沢町  | 12    |
| 2006年1月  | 除雪ボランティア    | 新潟県北魚沼郡河口町 | 24    |
| 2007年4月  | 能登半島地震救援    | 石川県輪島市門前町  | 6     |

なお、これらのボランティア活動は、禅仏教教育センターが窓口となり、学生に呼びかけし実施した。

東日本大震災復興支援ボランティア活動の現地派遣状況は、下記の通り。

【表 A-3-2 東日本大震災復興支援ボランティアについて】

(単位：名)

| 実施年月                | 支援内容                        | 派遣地域              | 参加学生数 |
|---------------------|-----------------------------|-------------------|-------|
| 2011年4月28日～<br>5月7日 | 大槌町ボランティアセンター内<br>支援活動 炊き出し | 岩手県大槌町・陸前高田市・大船渡市 | 31    |

|                        |   |                  |    |
|------------------------|---|------------------|----|
| 2011年8月1日～<br>8月6日     | 大槌町ボランティア<br>センター内<br>支援活動 仮設住宅<br>訪問           | 岩手県大槌町(金沢地<br>区) | 8  |
| 2011年11月17日～<br>11月20日 | 大槌町ボランティア<br>センター内<br>支援活動 仮設住宅<br>訪問           | 岩手県大槌町(金沢地<br>区) | 40 |
| 2011年11月19日～<br>11月23日 | 宮城県多賀城市七ヶ<br>浜町ボランティアセ<br>ンター活動 仮設住<br>宅訪問      | 宮城県多賀城市・塩竈市      | 18 |
| 2012年2月9日～<br>2月15日    | 大槌町・宮古市社会福<br>祉協議会復興支援ボ<br>ランティアセンター<br>支援活動 除雪 | 岩手県大槌町・宮古市       | 16 |

東日本震災復興支援ボランティア活動の現地派遣は、27日間で延べ113名被災地域に臨濟宗(松島瑞巖寺をはじめとする)関係寺院も多く、被災した本学同窓生も少なくなかった。大本山妙心寺派宗務本所・花園禅塾と本学が協力する形で実施した。

現地の同窓生の寺院を拠点に、現地ボランティアセンターから委託された瓦礫の撤去作業などに従事し、休みの日には、仮設住宅において炊き出しや絵書きなど、臨床心理学科の教員の「傾聴」指導を踏まえて臨み、好評を得た。

一方、心理カウンセリングセンターでは、文部科学省生涯学習政策局所管の社会教育団体「社団法人 倫理研究所・家庭倫理の会」からの依頼により、京都倫理会館においてカウンセリング講座を実施している。その内容は、カウンセリングの知識のみならず実技も身に付けられるよう講義と体験実習の両面を盛り込んでいる。具体的には、「講義：カウンセリングとは何か、実習：様々な聴き方を体験する」や「講義：人間理解の方法・視点 実習：ロールプレイ」などである。この講座は、心理カウンセリングセンターの相談員が交代で担当している。

また、心理カウンセリングセンターは、地域社会に開放された相談機関として、京都市内を中心に、良好な協力関係を構築している。具体的には、京都府警中京署(締結時は、堀川署 府警の組織変更により中京署所轄)に拠点を置く「犯罪被害者の会」の心理カウンセリングセンターとして、協力している。

社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コースでは、一般社会人を対象にした介護技術講習会を実施している。従来、介護福祉士国家試験は、筆記試験合格者が実技試験を受験し、これに合格した者に介護福祉士の資格が与えられていたが、平成17(2005)年度から介護技術講習制度が導入され、介護技術講習を受講(修了)した者は、実技試験が免除されることとなった。この講習会は、厚生労働大臣に実施予定を届出た介護福祉士養成施設(本学社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース)が実施することになっている。

本学文学部では、「京都」を研究する地域学として京都学課程を開設している。この課程は、歴史、文学、思想、文化などの諸方面から「古い歴史のまち」「生きているまち」であ

る京都を総合的にとらえ、「今後の京都」をも視野に入れた学問体系となっている。この京都学課程開設の関係で、「花園大学京都学夏期公開講座」を毎年実施し、地域学「京都」を一般市民に提供している。

本学では、禅仏教教育センターが、中心となり学生ボランティア活動を支援している。学生たちの具体的な活動は、京都市内の小学校の学習補助ボランティアや災害支援ボランティアがある。また、大学所在地域の学童保育、地蔵盆などに学生独自の課外活動で継続的な活動を行っている。

### **(3) A-3の改善・向上方策（将来計画）**

心理カウンセリングセンターの来談経緯のうち、「医療機関からの紹介」「職場からの紹介」というケースが3割程度を占める。これは、京都市内の医療機関や従業員のメンタルヘル스에積極的な企業との連携・提携によるものである。今後も、地域社会との協力関係の構築という意味からも、心理カウンセリングセンター委員会などで地域社会の各機関などとの連携・提携を積極的に進めて行く。また、学生のボランティア活動の支援については、禅仏教教育センターを中心に進めているが、全学部学科のバックアップ体制など、全学的な積極的な学生への働きかけを行いたい。

### **【基準Aの自己評価】**

本学の社会連携活動は、歴史博物館の展示活動、禅仏教教育センターの「禅」に関わる諸活動、心理カウンセリングセンターの相談・研究活動、学生ボランティア活動など、それぞれ顕著な特徴を持った活動を通じて地域社会で一定の役割を果たしている。